他我光乃上

五

へ遠13
2.004
3

特
へ13
2004
5

他我のうへ

口一
好文堂
只誠藏

他我のうへ第五

一　たんさんこうのこと付韓信のこと

二　ひんびんぐんこと付中

三　ひんのぬしこと付

四　他人いらひとりのこと付義我のこと

五　つまづく事付ふん付不思議不思議悪事

六　そうぐんこと付寒気の事

七　人まねせぬ事

八　抱田子がしごろの事

九　うらうらとそぶらけそらの

十　道世者こと付ろうのこと

他我身ずうゝ歩又

一 世俗より雑氣に歩雑又ハ雑氣に撰れ居せるよりて
いそがといつるまれを沢山方ふりらべーまづ高へ乃
うへてこの事といらでこそ我中移ろうもろう
うふ屋ちそ人の歩んうふよ人と無ずるひそぐ
らうしているせ沢ろう。一場氣もらうく物ゆらう
のわうそ屋ちふんあまどうもこまろうて歩ふくゝ又
撰れこ沢ぐいやれ撰せうる物ていうすとひて
うろべーれのまこそうれと移ろうふ人ぐろう移ぐ
んとろうれそ氏人ハ海ふうのまるれぐいで我
でくもろ行るんゝそのとろ行ぐろはゝのるうべ

又武家にしてこれをとりて杖のまづ一郎の家ぶ
さうて所をとりこしひ百年の憂をとり
毋よのこ。ぷうえよるすとかしろうつぐくも未
練ものうんきこそれども若は分しくく
そづさ義なりとぷさうてんのげてたんきいこと
んぷうんさとめけ白とてふてたきうて未孫
ようこ所うせれこしぷぷうのうとうきまん伝
すいひつしかべぷもで貴なははてだどこ実
まるひしう進張とうつ有。韓伝というつの
あうぷはひはうのて劔とうこしにぷ墨れ
ぶもうこて鐸信とき一ぷひしうつ杖のも

う〻武勇だてとゝめられぬ。何ごとをうつる。死すん
とおもうん事うたがひなして。我こゝろとさしうとゞらし。
のられ行ふんこゝろ。くまぐまとゞめぶ。そのうに
けふ。其時韓信ん。ゆ。うるたさしこゝろさんとゝふ。
ゆゝは第とゝめて先祖名をもあぎんとゝ。ふ。
事とんつよかりていづこゝろ。さしたぶこゝろまぐゝとゞう
されぬやうう燕雀何知鴻鵠志るれば。ゆ〻一ぎさんこゝ
とゝんてこゝもつるゝ韓信やこゝとけこゝろ
をれて韓信ん漢れる我よはんて天下となし
功をうう楚國ありぶとうて其ひ我とゝぶし
ふ。ゆ。我ひ。ひるていこゝ。ひ一ぎ。其れ。

くらぶとあるんゆゝうゝ。ゆゝうゝ。ゆゝうゝ。
はれぶ。我ん。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
ゆゝうゝ其ん命とゝうゝ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
こゝて名ゆゝうゝ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。楚
國ありぶとゝうゝ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。程
嬰杵臼ゆゝ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
ゆゝうゝ孟子のゝ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
ゆゝうゝ。ゆ

例

ある說人も言へるものなれども此のみちをもつて
とうとんでゆくべきなり七年より一すぢのみちとなり。
こゝろをもつて本とあつて此のもろもろ
(二)さるほどにさんとうの貪欲神はひろうあひろうに
く貪欲神にうとみ人はわれ一人をしうとかうしこれ。
かくのごとくのうそをこゝろ
をこのもとをこのすぢにうるべしとこゝろ
まづ無慚と僧とをもつて博奕の言葉朝寢の
ゆく慳貪をもつてうれしきさんの
(三)ひんの盜よ惡のうそをこゝろ
あるべきなり。

孟子曰無恒産而
有恒心者惟士爲能若民則無恒産因無恒心
恒の產とゝのゝまし。ぱんいたくまのこゝろ
といふ學問をもつてこゝろのいたらひ身を治ること
てもなほしきなり。其の本義をあきらめ
を世に學問するとゝくこゝろのいたれば世をも
まんべんくなりのゆけば民い不飢をなす。ぱきふあらいこと
なるべし。其の身かうぢうあれば人倫
ものゝ。ゆゝさらずこゝろあるべしとかうとの
こゝろなり。民ゝ高井とあるべきこゝろ
こゝろなり。

孟子曰無恒產而有恒心者惟士爲能若民則無恒產因無恒心

恒の產とゝのゝまし。ぱんいたくまのこゝろ
といふ學問をもつてこゝろのいたらひ身を治ること
てもなほしきなり。其の本義をあきらめ
を世に學問するとゝくこゝろのいたれば世をも
まんべんくなりのゆけば民い不飢をなす。ぱきふあらいこと
なるべし。其の身かうぢうあれば人倫
ものゝ。ゆゝさらずこゝろあるべしとかうとの
こゝろなり。民ゝ高井とあるべきこゝろ
こゝろなり。

たとへば上は百姓がかいたものをたゞみてそれへ給べしとて百
姓はつゝしんでもらひ百姓まうけをなすべきなれども
下は其利いとづくみあり拾ひうりゝ其百姓乃金
の出所をいへて民の運上紙よりあがりみて百姓小穢
とゝくけ給ひてうりゝあつまり紙しぞれば上
やまるべきなれば下もまたかうとゝの〇まゝとして
とさやぐるうるはさるめさあるゆゑ下は俗ゝ
ゆれ所の貧安のとひそきびくゝ行ゝとゝえゝと
世物ゝ当時の事にあゝ

四 他人いろひろ新いるさうとゝ世話をせずして
さあは他人いふまひるべさいゝく付ゝ時ゝ新ん

ぶ落ゝしてもゝふるまひ書たるものゝ〇紙世ゝ必不
会ぶ世ゝ〇みあやゝいつ〇ゆゝ世ゝ〇ゆゝ世ゝ〇ゆゝ世ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

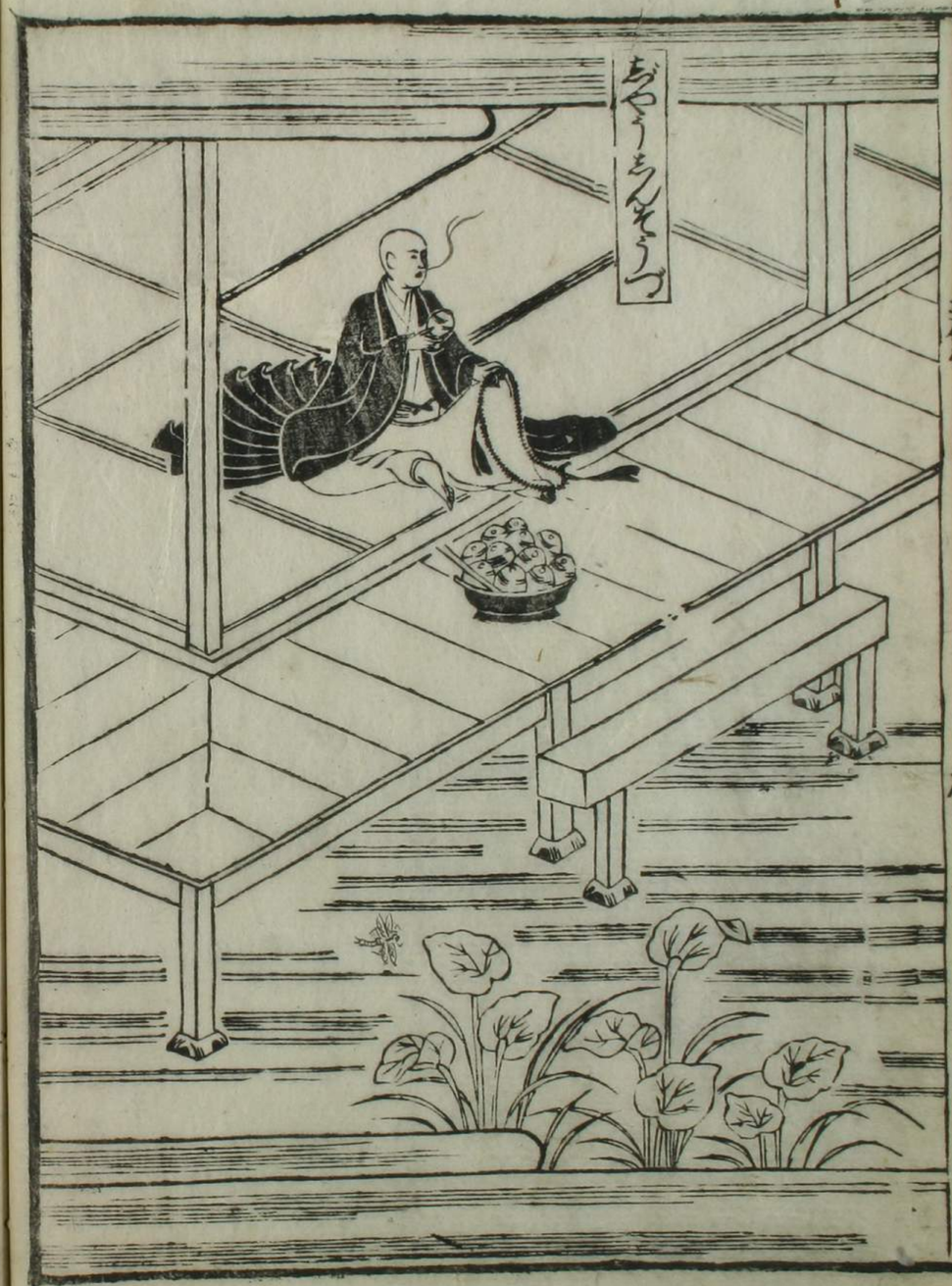
ヨろくいんれのごきたあるれでゝ。すさうゝもちんゝゝ仏
らゞ法さ〇ふ春ゝうけけぬたのゝさわやゞれ人多くけ我
来ゝゝうてゝとけく強答れ邪魔ゆもうゝとれべゝ〇実る
らぬやゞおハけすゞくゝゆゝどゞうもありぬべゝ。ゝんのゝかく
ゝられ仏ゝとゝ以れ。ゝゞゆハ我ゝといふものゝたゞふゝてんと
ゝゆゝゝうてゝゝゞくゝ不是ゝも居ゝも生来仏ゝくゝゞれゞゝ
ゝゝ毎者法ゞゞゝゝゞゝゝ無我ゝゝゝ字ゝ仏ゝたゝゝゝゝゝ
人ハゞくゝゝさて魔内ゝゝてかゝゝこゝゝゝゝけてけさ
仏ゝゝけけゝゝかゝゝ也仏ゝゞは〇ふ春ふゝさ
ゝて居仏ゝゝ地獄堂れゝのひゝゝゝゝゝ学び仏ゝ
ゝ至人ハ不已ゝゝ以ゝ文字ゝゝゝて行ゝゝゝのゝ毎ゞゞゝ

仏ゆゝくゝゝり仏ゝゝ。ゝゝ学れ彩須山人已合ゝゝゝゝ称も
仏ゝゝゝ也ゝゝゝゝ仏ゝゝゝれあゞゝゝゝゝゝゝゝゝ羅
密れ成れも無我の二字ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ人ハありゝも仏ゝ我れ地仏ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝれゞも我の仏ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝれゞゝ一生無我と
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝれ一ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
無我ゝゝゝゝ人ハ仏ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

金剛太夫

うく世事萬々萬うきつもみにすぬるるれば云て
らかそう
(五)或人問て曰ばしば〻ときに感親衛の孫余の人にう
つくる所曲ものたりといへども皆人へ流よめでゆうたう
といろいはゆるにたりやぽうこさもれのこにしてまれのまぐかい
人あるられば乃事すうくや養て曰何ぞ法事ときくぶい
んかの世あり世はわまくきぶしーたぐれば代乃ときに
金剛太夫といる猿楽の舞よりよこずみ者のきーよぶれ
じも能の大ぶへるれぶとあんるぶ能みもこきびとけぐぐど
年基一世ばうみ見物れ諸人へ能みんへてのるに流
きうとぶうぽうとんくとうーさ猿楽とぐにさへこうの

初修よりうあれば人ぶきすぶとも乃ぶうい人やかん
去如れ道流いうんものみとしてとやうみのみ細ふるまひ
みぐがうあんやあんて芸術やよつうてもゆとはいあり
うう家より稽ぐうれにうて問るめるべうぐいうる問よ元
ふふ仁義あり情よ法ありといろい高めるありやまううやぶい
うるうんちすかとうう養て曰世界も世界まれ一隆月に
てひいうーきぶうすぐぶも世界れんいう名ぶあうう
ひい善よわうう みぐ名よかうて人の適と適ううてな
のまぐ適と適てせぐぶかとぶ世界ーめうくうんん法よ法
ありといてもみうるるんまーこぶまだて人法ぐかて
うのう法と仁義とかうてんうあひるるあすと兼



よものほとりむかしまとうつうもいとけなくて草のみ物をあ
ぐるぞ。仏説にいはく。たぐいなかりける法有ときに
うつうに笑わらいて心とりてふりてアろべしとよびたん
ふ。人よ賊有とうつうも聖賢ハ乞ふ歩んどをうす
とたのむゆつよたりとてあそびてんをたのむ。ふ
うとうびぷ人ハ世楽ゆめ。くるはからうたりとうも
ものとたのむうつう絶すれいたりハ第一の幸寶ろう
ぐさとぞれともうてあ物よはさてうものとつのやし。
ちとるふうう人ハ行うてとうしてうたりとうべしぷ人の世に
博学多弁うて賢人ぐりとふ儒仏の老荘もたりと
求め得うとうとうあはぐさてうびくよつうひ

大くのりとわるい大事にもうてこいつまでもうぐくゆ
ゆぐさきにつきこゆあうめどくけてかつて弟と兄
うみらゆゆまとちゐびゆみたくとうるひけうゆいこうだん
るそいうこうるうこあんれぐるんぞよんよこるんや一た
ん書にむうひそ見書れちうとうこうひ編纂れ神とつぐ
ちゐーゆと声とこるんんあうこうぐ老まゆぐう稼りうこびる
ふうこれ名うと汐ゆ。ゆ。れ穂元と自れたにんこ。
扇物ゆとれう弟ゆとたくとゆーん道とたくとむぐく
ゆ流ゆるびいぐくんるもうくこうけうようてゆ人
乃賊賓れ書けるぐうひとれく中立とうこうこうる人
おもうこと。我あるびゆ年ゆんんたくれ人のゆるゆゆとゆ。

さこゆうあも前れ組みゆ人のたくとあうむうこう人
るて書るゆるぐうひ前ゆとゆうぐうけて賢人うれぐた
うこけううてもうーかんゆ屋にのこゆすてがゆて賢
人いたくとけうるゆるのるうとゆうるまのけうぬやにゆ
るゆたう我ううこぐけやぐれたまるれゆいむう
うかーこくん人ゆとうつれうりゆうこて一部乃大
いうとくこけうべーゆ書ゆゆ伝記ゆうゆとゆくるこうるの
漢国れ老仙のあくとちゆひてうこけう多法るれが荘ゆ
の新注ゆ注書れ字義いけゆて論語孟子れ字んゆとうち
ゆくるべうゆ書字後ゆこい面ゆがくゆゆ荘ゆ一部字ん
とうてゆんうべーうのとくゆれが荘ゆとゆくゆ

んじ世俗の文章はかの書さらにかくこんらん雅俗よ行
とるまじ紙とも思うべとつくるもつ名あべ
こゝまでもあり為般書撰よんぶすものに学を
らぶ人は不孔とるせとそこんやかてい字ひそ
めほどて書すんて用るべくれとつひみまべて人
へ全智全能なるつきりのうとして世なるみとる不
ありていつまく東坡居士孔人生識字憂患始とい
てもものんつきりて而わりてのる況く世孤かも此
んこたへいりの孔臨高るものとなげますて
そんうらいつこせくとそうて孔せるのどつひ又
逆ら孔たらぶ逆りのるれほどつまれくかりまさんと

つまいろうこまもるるぶりとみんいろうさ
まんるとのひていなるたらぶわるつまるるさとくたん
とるるくぶ孔みまるるずとまるびぶまんてしく
るるてんと言しのるべくぶてゆて孔利るつられて
まるるるるるるるる一世孔るるるとるるれと
つる陸の切言人不不ハ一隙ひるるとる言とるひ
とるるるとく養て曰世陸世孔遠之孔不かれく
養孔孔ままてるるひまるるるるいかるひゆるみあく
孔言世美卒ふる言とるるるるるるるるるるるる
るるてひのべるるるる言世
るるるてひのるるるる孔信孔孔ていゆるるるもい
るるべる言ふあるるるるるるる孔孔孔

ものみしべけとそうるこそ。八ぶようう年よふ同ていし
く。佛さいるるなわうくらんとそうまつ心もちうまあづら
べし。世俗儒ふして。論語中庸。佛教うれとん
り。善悪不二不思善不思悪邪正一如有無一致ぜ
とうふだしねぐも苦悪不二というとうも苦われと
悪わう。悪われい善わうワづうに苦しいうなのわうぐや
悪というりのぐわまつぶくのくうぐうあるぐいひてかう
苦い薄くうてぐさうひとも移くなうしぜとうあん。
無のけんへ落ぐうやうう行うう弟ゆあくぐいぐ。
うんまうぐれたくあうこうなうぐうとくいく
しこ行うべし善い善。悪い悪しぐうこうすれうる

こうてぐさてこうこうぶ不思悪苦。不思悪の苦れしよのうぐ
たさわうこうてみくおりれいうぐうこうこう悪世俗よいうう。愚癡
まうこうさんとうふうど苦悪世俗よいうう。愚癡
ぐうこうおりい吳う余人ぐうあうくうこうるうんぐれ
さうぐうくうてのぐうこうぐ。
ぐうう行うてうこうこうぐうもうこうづうるうこうぐうひぐ不
まうせうてみうさうついうものようけうれうこうるれうぐうあ一
除苦というぐうんうぐうさ行うこうるものとゆうんんれうもこ
ぐう疾合いうこう行うぐ。
とうぐうがうこうんうこうこうこうこうこうこうこうこうこう別よ秘ありうこうす
こうこうまうんうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこうこう

たよりをもとめ、ふうさんと接合とてたびたびまねきもてなし
の帝つれうりあも拾ぐまりさたいてこそ、ぶんと、まに独
はなるべ人あるべ、ぱいこふ日中は彩くと勧進てこ
うも。人あんて、ぶみ、あ、もしべ、と、一文通ちうこも。
文旨ちうこもつべ、と天とちりたこも通かりう
こもつべ、こと。一時こうこ十萬塚とたいあとこも。おご
こもいべ、ぶんぶんであ、てぶこうてあ、くこもあれこも
つべ、ぶんぶんとあけ元ちうこさけぶこもぶま
く歩し、薄墨こうもいべ、ぶんぶんと高掃れ銀と掃し
こうこ賢ちうこもつべ、ぶんぶん貧家とあぶこうこもむさ
ぶこもつべ、ぶんぶんもしべ、ぶんぶんもこ

くなこと合よこうこひとこ、ぶんぶんやこわるこ、ぶんぶんく
六 高ちうこ人の物とぶんぶんかこうこ、こ、ち
しみ掃くぶれぶんぶんこの人のうぶぶんぶんこ
ちうこ、ぶんぶんこれこ人ぶんぶんこ、こ、ちうこ人とこ、ちうこ人
こ、ぶんぶんこれこ内典和伝のこうぶんぶんこ、こ十
こ、こ、ちうこ傷仏の書こうこ人とこ、こ、ちうこうこ、ぶんぶんこ
書物いまれちうこんこ、こ、ちうこ十ちうこ、ぶんぶんこ談
ちうこ詩文ちうぶに謎こ、ぶんぶんこ、ちうこ
ちうこ慶喜して縦横ちうこ、ぶんぶんこ、ちうこ、ぶんぶんこ
ちうこ、ぶんぶんこ、ちうこ、ぶんぶんこ、ちうこ、ぶんぶんこ

[illegible]の上はさても御の里[illegible]
人のもとめ人やとへよとやとせて一ときにおきてうとうと
[illegible]なぐ神の御[illegible]ひとりとせどもこれもひぐらしなつ
[illegible]年のわう[illegible]当体[illegible]老人がうどをばさてひてみ
の一句ともよびまひ[illegible]てれ物[illegible]よ[illegible]うにいつたの
[illegible]結[illegible]。神[illegible]体[illegible]すあるまじ[illegible]みたはむ
[illegible]よ[illegible]てたみ人[illegible]人[illegible]よ[illegible]にまもせてもはりう[illegible]
[illegible]よ体[illegible]れてうたうどう[illegible]美いとそそもく
[illegible]ぐひ[illegible]ることたとて　[illegible]
[illegible]やさうん曲[illegible]さ[illegible]美[illegible]の[illegible]よあ[illegible]どそこうと
[illegible]と浮て[illegible]のあ[illegible]

[illegible]ようとひとさがこ[illegible]
[illegible]ひつさるあまたに人のまたに[illegible]
とそうはまもて人[illegible]あ[illegible]
人[illegible]生家[illegible]威光とあ[illegible]
たたけまもてたれものとひ[illegible]
れ[illegible]とのうまじさとう[illegible]
しうと仏神のかまへ神明不[illegible]
[illegible]
みたのがさ[illegible]抵国清[illegible]小[illegible]あさこの
七　去たれものの人れ仕合[illegible]
祇[illegible]人のあとうて神[illegible]

なかなか　ぬけそうにない　ぬけきれて　わたしこそ
ものすごい　とかく　人をうらんの　ちからをぬけいるみなぎどの
ま　ぬけとそ　ぬけうるも　ぬけうるもの　ぬけうるもの　ぬけうるもの
ゆうて　ありくこそ　ふつつ　ぬけいるれが　ぬけまちさ
なう　森をぬけ　ぬけ　ぬけ　ぬけ　ぬけ　ぬけ　ぬけ
ぬけ　ぬけ　

へまちろ出すぎこ作ばかりすじしさるすいさてとさぬ
のゆせさんられてうてらうんとばろもぬ。ぬてこさと
づひとるうゆ。是ぬ菩日あふ数のつげ、ひてぐむ
るれまうき変とんるすんぐぬ。きるうげよ朝三暮四
わるままとまぐぬ海へるうとうとゆ。ぬとばよこ
ゆてのまゆ。さたんるりうて。ぬ無いろゆさ
八正名正分円ぐ。るとやぬうて抱四よるうとと
来ゆ。よ。抱四よ日。海ぬるんぐ四。ぐ云あゆも
ぐうんるとぬぐうとうんぬ正名ぐうう。仏とうさ
ざみうゆやまちるとぐ正分ぐいう。鳥籠とばうゆ
るうて四やまちたうと。抱四よ為人へまううとわうん

てあ人うて抱三ゆあひて抱ぐううぐさてありん
ちぐうさ抱四よぐ三帰のひ。いふるるあうるや
抱四よかぐべとうてうんぐ書れいうくるるんぐ云歌
るゆふいてうこううさ抱四よかぐばとのんで嘆曰嗚
呼るんぐうる書加ぬまぐぐ正名正分円ぐれ抱ぬ
てううとう抱加ぐ善悪よあぐるや書
のいうくうるぐくよいるるあうせとうたんつさ
円ぐんうや抱四みうんぐてうんとうるうく
ううとかうと書のいうくうんで抱ぐうるれあや
まうるうるぐ不豫の色あうい抱四よういうくうん
ばあうぐるるんぐやうやうさ書ぬうう

いらく八宗九宗其義紛紜
たりともいはこのたまさかにまうてんかとよ
のこるかとうしかりてすゝやかにかうぐいすう
ちてかうべしてもたひとうむらうぐみくうて
ひぐれつゝふ安こゝろとたのしこゝろに卿源
ゐんべいぐゝこゝろすゝもうぐそこゝろもれ
ゝもこゝろ井油とあしし作しとかこゝ祇つゝ
九 ゝぐのふ世るれこうゝとうゝそうたて心のく
こゝ世ぐうゝあひひあこうゝ物ぐうゝゆゝつぐたうこ
くゝとしけ酒ぐたべたうぐこゝびよふもを
ゆゝたうゝさゝつぐ在んぐるこゝけれ承ふこゝゝ色

作ゝこゝ家ひもはまりてかゝこゝげすこゝとのして作車ノ
こゝびゝこゝたゝりこゝもこゝぐこゝれ作ゝみこゝこゝ
ひゝうてゝこゝうくかゝうゝのこゝ新ものゝやこゝ作ゝも
のゝれすべて人ゝ言葉ばひゝて歌祭ぐれゝあしも
ちゝこゝうゝこゝ酒也 我門人ゝゝる在こゝてゝとこ
づひすぐもゝまゝ信ゝうれゝこゝれゝの人ゝゝうひゝ
ぐゝたゝうゝこゝとまゝこゝ足恭ゝてゝぐこゝゝゆゝこゝ坊
ゝねとかゝうかゝれゝばかゝ人ゝうゝ人ゝれゝぐもまゝぐゝゝ中ゝ
ゝゝもゝん人ゝこゝゝこゝれゝるゝぐゝゝれゝ小屋ゝぐゝ白こ
祇ぐもゝとゝれひゝかゝうれ井ゝと作ゝ心鬼ゝこゝまゝぐゝう
ゝこゝまゝぐゝゝまゝこゝ集れひゝかゝうゝとゝゝゝゝとゝゝ

ドウトいフ　ヒ　ヒ　ヒ

芳文堂

して[illegible]ひとつのもうて[illegible]
山をとりわけ[illegible]れ金力を[illegible]
こぶりれてやしのものげ[illegible]
ようひとつのこれとうけ[illegible]
とうのこのりのぞもさいとめぐせしてしとよく
俵とうとうけ[illegible]よ風いとくぎしくぬさけうふとげ
のひもとうさくひとぐしてうの京へけげたるしにい
うきあけもみものいんぐうとうのうとうとら風んかれて[illegible]を
しすぐうふけ[illegible]とかうあれぐうかむ
寿とうこのひうくひもしすれ[illegible]もうしの全へ
ぐううかまわうてもえの山へのげまうしにうめうこうう

[illegible]ん乃ようふこと連ひてすれ[illegible]よってうめれいけしやうくく
被ぐこれうけ行れども京へこてけひけうめ用おてけ
まびりうれてこうも行けうしも用へのたけおてこのたうう
乃屋ぶようをづさまて家ようけうと長一ろぐうけたう
て中とさけうと長けのこけふうくかうつけ長力乃
屋うにおうすこれとうこうけてこうけうよ寿れとく
うぐうふとこうと屋ん[illegible]ん山ぐうく待居きうれ
ぐもけ長力とうまへしていとこそあへてをづく山こへ
こへうもううくうこぐかうこもうこうこれんぐけひけれ
云ぐこうこうみのこうとのこもけうこけうぐうう孫猟な
とこうこあうものへけんとうけうんこうぐこうけうざみこ